

電波ウォッチ / 取扱説明書・保証書

取説No. G-D47e

このたびはデジタル電波時計をお買い上げいただき、ありがとうございます。この取扱説明書は各モデル共通になっております。正しく安全にお使いいただく為、**ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。**

- 製品や説明書の内容は改良などのため、予告なしに変わる事があります。
- この時計によって生じたいかなる支出・損益、その他の損失に対しては一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- この取扱説明書は許可なく変更・複製しないでください。

保証書

製品型番	
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より1年間
お客様	ご氏名： ご住所： T E L：
販売店	

◎**お買い上げ時のレシートは、必ず保管してください。返品・交換の際、必要となります。**
※本保証書は下記保証規定により無料修理を保証するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※ご購入頂いたお客様の情報は、保証期間内のアフターサービス、及びその後の品質向上の為に利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。
本保証書は、日本国内でのみ有効です。The Guarantee Valid only in Japan.

保証書について

この商品をご使用中、正常なご使用状態で自然故障を生じた場合は、下記保証規定により所定期間無料修理致します。

- 時計本体のみが、保証の対象となります。
- 保証の方法 / 修理、調整が原則です。修理の際、ムーブメントやモジュール、レンズ、ケース、文字盤、針、バンド等是一部代替部品を使用させて頂くことがありますので、御了承ください。
- 保証を受けるための条件（手続） / 修理、調整の際は必ず現品に保証書を添えて、販売店までご連絡ください。修理に関わる運賃・諸掛りはお客様にてご負担願います。
- 保証の適用除外
※保証期間中でも次の場合は、有料修理となりますのでご了承ください。
※誤ったご使用、お客様ご自身による修理、改造又は、お取扱の不注意による故障。
※保証書のご呈示がない場合。
※天災、火災による故障。
※保証書にお買い上げ店名、お買い上げ年月日のご記入がない場合、或は字句を訂正された場合。
※電池交換。
※ご使用中に生じる外観上の変化（ケース・レンズの小キズ、汚れ等）。
※過度の衝撃や振動を与えた場合の故障。
※防水保証範囲を超えて（お風呂・プール等）のご使用
※内部に水が入った場合。
※保証書の再発行は致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。
※修理内容の記録は修理伝票にひかえさせていただきます。

アフターサービスのご案内

- 本製品は、厳重な品質管理を行っておりますが、万一修理の必要が生じた場合は、お手数ですが下記までご連絡いただくか、お買い上げいただいた販売店までお持ちくださるようお願い申し上げます。尚、ご送付の際は破損や紛失防止のため適切な梱包の上、お送りください。
- 一部商品につきましては、特殊なベルト固定仕様となっており、一般店では電池交換が出来ない場合が有ります。そのような場合は、クレファアアフターサービスにて電池交換を有償にて承ります。詳しくはクレファアアフターサービスまでご連絡お願いします。

<p>製造元 株式会社クレファア 株式会社クレファアアフターサービス</p> <p>〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢1638-1 TEL:042-703-1785 FAX:042-700-1106 (土日休日を除く平日10:00~12:00 / 13:00~17:00)</p>

機能

- ①電波受信機能とは独立行政法人情報通信研究機構の標準電波を受信して、自動的に時刻を修正する機能。※自動受信や手動受信中（電波受信マークが点滅中）には、ボタン操作しないでなくてください。電波受信が行われない場合があります。
- ②時計機能
③カレンダー機能（月、日、曜日）
④12/24時間表示機能
- ⑤時報機能（チャイム）
⑥アラーム機能
⑦カウントダウン機能
⑧デュアルタイム機能
- ⑨リセット機能
⑩ELライト機能
※暗闇での時刻確認等に便利です。
- ⑪クロノグラフ機能
※1/100秒から23時間59分59秒まで
※1/100秒まで表示するストップウォッチ機能
※スプリットタイム機能

製品仕様

受信周波数　： 40kHz(福島局)と60kHz(九州局)の自動選局（JJY）
クォーツ精度　： 平均月差　±60秒(5～35℃以内で使用した場合)
防水機能　　： 5気圧防水
電池寿命　　： 約3年
受信機能　　： 1日に3回（AM0:00、AM4:00、PM6:00）、手動受信機能

各部の名称

※本取扱説明書に記載されている図は一例です。文字のデザインや表示はモデルによって異なります。



通常時刻表示の時にBボタンを押していくと、以下のような順番で表示が切り替わります。

時刻表示→ストップウォッチ→アラーム→カウントダウン→デュアルタイム表示

●液晶ディスプレイ 以下のような表示で現在の状況を知らせます。



- 受信すると受信確認マーク(40kHzまたは60kHz)と電波受信マークが表示されます。但し、Dボタンでマニュアル設定モードにしてから通常時刻表示モードに戻すと、受信に成功しても電波受信マークは消えてしまいます。
※40kHz(福島県おたかどや山)・60kHz(福岡県と佐賀県の県境はがね山)
- 曜日表示は以下の様に表示されます。(SUN/日・MON/月・TUE/火・WED/水・THU/木・FRI/金・SAT/土)

ご購入後の時刻合わせ

●電波受信について

- ①受信について
時計を水平の状態にして、12時方向を電波送信所のある方向にゆっくり回しながら向けて、受信状態の良い位置を探してください。
40kHz：福島県田村市　おたかどや山
60kHz：佐賀県佐賀市　はがね山
- ②次のような状況では受信が難しい場合があります。
・鉄筋/鉄骨の建物の中、およびその周辺
・車、電車、飛行機等の乗物の中や磁気を発する家電製品の近く
・高圧電線やテレビ塔の近く
・ノイズ発生場所の近く(空港、工事現場、高速道路等の交通量の多い道路等)

●自動受信について

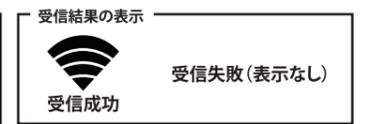
自動受信は1日にAM0:00、AM4:00、PM6:00の計3回受信機能が働き、電波を受信します。但し、日に1回自動受信に成功すると、その日の自動受信は行われなくなります。又、電波受信後に一度マニュアルで時刻設定を行った場合、次に行われる1回目の自動受信はAM0:00になります。

●手動受信について

Cボタンを約3秒間押します(ピツという音が聞こえます)強制受信機能が開始され、マークが点滅し始めます。(手動受信を開始してから約4分後に受信は終了しますが、電波状況によってはそれ以上掛かる場合もあります。また受信に失敗した場合は時計の向きを確認し再度強制受信を行ってください。それでも受信しない場合はマニュアル時刻セットで時刻を合わせてください。)

●電波の受信状況について

電波の受信状況は以下のように表示されます。
※受信中は大変良好のマークが点灯する場所で受信を行ってください。

電波受信マークの受信表示	受信結果の表示
	

●液晶表示誤差について

液晶表示の誤差は電波受信直後で±1秒以内です。

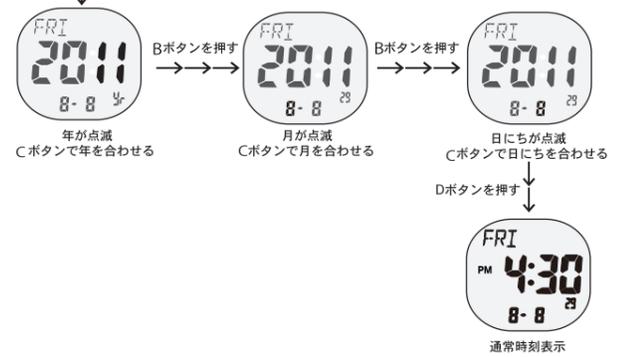
●通常(マニュアル)時刻設定の方法

●マニュアル時刻セットについて

電波の受信出来ない場所では、マニュアルで時刻を合わせることが出来ます。電氣的なノイズや天候の状況により受信状況が良くない時や、地下などの電波が届かない場所で時刻を合わせる時にご使用ください。

●マニュアル時刻のセット方法

- (1)通常時刻表示モードの時にDボタンを約3秒押すと(ピツという音が鳴ります) 12/24時間表示設定の画面が表示され、12/24時間選択部分の数字が点滅しますのでCボタンで12/24時間を設定してBボタンを押してください。
- (2)次に秒が点滅しますので、Cボタンを押すと秒が“00”から数上げていきます。
- (3)次にBボタンを押すと時が点滅しますので、Cボタンで時を合わせてください。
※この時、1回ボタンを押す毎に数値は1単位ずつ進み、押し続けると早送りできます。
- (4)次にBボタンを押すと分が点滅しますので、Cボタンで分を合わせてください。
- (5)次にBボタンを押すと西暦が表示され、点滅しますので、Cボタンで年を合わせてください。
- (6)次にBボタンを押すと月が点滅しますので、Cボタンで月を合わせてください。
- (7)次にBボタンを押すと日にちが点滅しますので、Cボタンで日にちを合わせてください。
※曜日は自動カレンダー機能により自動的に表示されます。
- (8)全ての設定が終了しましたら、最後にDボタンを押すと通常時刻表示モードに戻ります。
※設定時に約1分以上ボタンを押さないと画面は通常時刻表示モードに戻ります。



●クロノグラフモードについて

クロノグラフモードには、ストップウォッチ機能とスプリットタイム機能があります。

●ストップウォッチ操作方法

- (1)通常時刻表示モードの時にBボタンを押すと、ストップウォッチ機能になります。(曜日の表示が“STW”に切り替わり画面左下にマークが表示されます)
- (2)そのままの状態、Cボタンを押すと計測がスタートし、再度Cボタンを押すと計測がストップします。(Cボタンを押すことにより計測スタート、ストップ、スタート…を繰り返します)
- (3)Dボタンを押すと計測時間がリセットされます。
- (4)Bボタンを押すと通常時刻表示モードに戻ります。



●スプリットタイム操作方法

- (1)通常時刻表示モードの時にBボタンを押すと、ストップウォッチ機能になります。(曜日の表示が“STW”に切り替わり画面左下にマークが表示されます)
- (2)そのままの状態、Cボタンを押すと計測がスタートします。この間も計測は続いています。(スプリットタイム表示中はの下にSPLと表示されます。)
- (3)次にDボタンを押すとスプリットタイム(途中経過時間)を表示します。
- (4)再度Dボタンを押すと計測中画面に戻ります。
- (5)Cボタンを押すと最後の記録が表示されます。
- (6)Dボタンを押すと計測時間がリセットされます。
- (7)Bボタンを押すと通常時刻表示モードに戻ります。



●アラーム時刻の設定について

●アラーム時刻設定方法

- (1)通常時刻表示モードの時にBボタンを2回押すとアラーム時刻設定モードが表示されます。(曜日の表示が“ALM”に切り替わります)
- (2)次にDボタンを約3秒長押しすると(ピツという音が鳴ります)時が点滅しますので、Cボタンで時を設定してください。
- (3)次にBボタンを押すと分が点滅しますので、Cボタンで分を設定してください。
- (4)次にDボタンを押すとアラーム時刻が設定され、最後にBボタンを押すと通常時刻表示モードに戻ります。
※アラームは約30秒間鳴ります。又、アラーム音はどのボタンを押しても止まります。
※Cボタンを長押しして早送りできます。



●時報、アラームのON・OFF

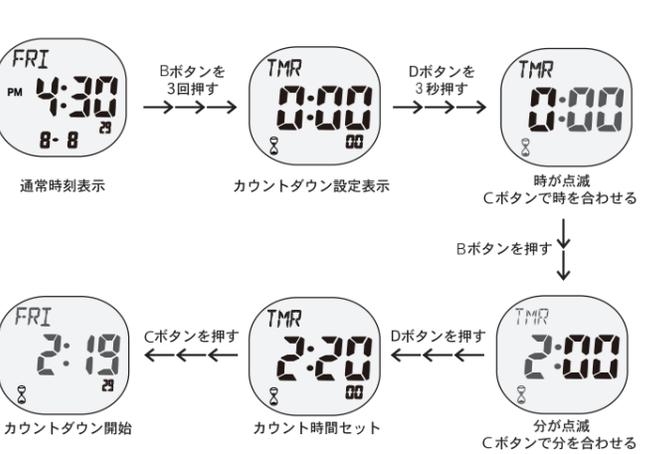
- (1)通常時刻表示モードの時にBボタンを2回押してアラーム時刻設定モードを表示します。
- (2)次にCボタンを押すとALMマークが表示され、アラームがONになります。
- (3)再度Cボタンを押すとCHIマークが表示され、アラームOFFになります。このとき、時報がONになります。
- (4)再度Cボタンを押すとALMマークとCHIマークが表示され、アラームと時報の両方がONになります。
- (5)再度Cボタンを押すとALMマークとCHIマークが消えてアラームと時報の両方がOFFになります。
- (6)最後にBボタンを押すと通常時刻表示モードに戻り画面にはONの内容が表示されます。

※CHI▶時報 ALM▶アラーム



■ カウントダウン操作方法

- 通常時刻表示モードの時にBボタンを3回押すと カウントダウン設定モードが表示されます（曜日の表示が“TMR”に切り替わり画面左下に⌚マークが表示されます）
- 次にDボタンを約3秒押すと(ピッと音が聞こえます)時が点滅しますので、Cボタンで時を設定してください。
- 次にBボタンを押すと分が点滅しますので、Cボタンで分を設定してください。
- 次にDボタンを押すとカウントダウン時間がセットされ、Cボタンを押すとカウントダウンが開始。再度Cボタンを押すとカウントダウンが停止します。
 - ※カウントダウン中にBボタンを押すと通常時刻表示モードに戻りますが、カウントダウン機能は動いていますので、時間になるとアラーム音が鳴ります。
 - ※アラームは約30秒間鳴ります。又、アラーム音はどのボタンを押しても止まりません。

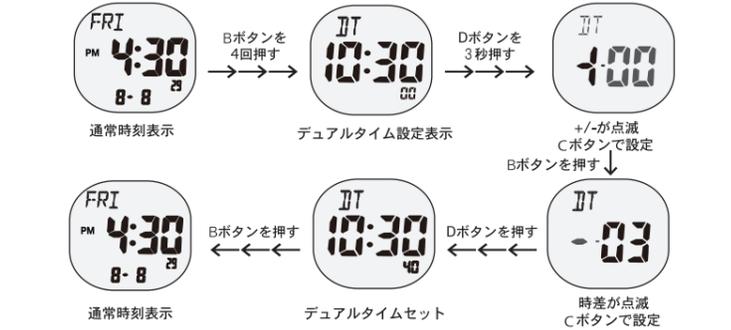


■ デュアルタイム機能について

ロンドンのグリニッジ標準時(GMT)を基準とし、海外等の時差のある場所の時刻を設定するが出来ます。下記のグリニッジ標準時を基準としたGMTタイムゾーン一覧表を参考にしてを設定してください。

GMTとの時差	都市名・地域
-12h	エニウェトク、クエジェリン
-11h	ミッドウェー島、サモア
-10h	ハワイ
-9h	アラスカ
-8h	太平洋標準時(米国、カナダ)
-7h	山岳部標準時(米国、カナダ)
-6h	中部標準時(米国・カナダ)、メキシコ
-5h	東部標準時(米国、カナダ)
-4h	大西洋標準時(カナダ)
-3h	ブラジル、グリーンランド、フェノスアイレス
-2h	サウスジョージア、サウスサンドウィッチ諸島
-1h	アゾレス諸島、ガーボベルデ
±0h	グリニッジ標準時 西ヨーロッパ地位域標準時
+1h	中央ヨーロッパ地位域標準時
+2h	東ヨーロッパ地位域標準時
+3h	ナイロビ、バクダット、モスクワ、ボルゴラード、
+4h	アブダビ、マスカット
+5h	カラチ、タシケント
+6h	ダッカ、ティンブー、プータン
+7h	バンコク、ハノイ、ジャカルタ
+8h	クアラルンプール、シンガポール、北京、重慶、香港、台北
+9h	ソウル 大阪、札幌、東京
+10h	メルボルン、シドニー、グアム、プリズベン、キャンペラ
+11h	ソロモン諸島、ニューカレドニア
+12h	フィジー、マーシャル諸島

- 通常時刻表示モードの時に Bボタンを4回押すと デュアル時刻が表示されます。(曜日の表示が“DT”に切り替わります)
 - ※時差未設定時は日本から-9時間のグリニッジ標準時を表示します。
- 次にDボタンを約3秒押す(ピッと音が聞こえます)と前回設定した時差が表示され、+または-が点滅します。(前回の設定により、“+”が点滅表示する場合と、“-”が点滅表示する場合があります。) 設定したい場所の デュアル時刻の時差ををGMTタイムゾーン一覧表を参考にして、“+”か“-”をCボタンで設定してください。
- 次にBボタンを押すと数字が点滅しますので、GMTタイムゾーン一覧表を参考にCボタンで時差を設定してください。
- 次にDボタンを押すとデュアルタイム時間がセットされ、Bボタンで通常時刻表示モードに戻ります。
- デュアル時刻を確認したい時は、通常時刻表示モードの時に Bボタンを4回押すとデュアル時刻が表示されます。



～ 使用例 ～

- デュアル時刻をシドニーに設定したい場合。
 - ・GMTタイムゾーン一覧表で時差を確認すると時差は、+10 時間となります。
 - ・通常時刻表示からBボタンを4回押しした後、Dボタンを約3秒間押し、デュアル時刻設定モードになったところで、Cボタンを押して、“+”に合わせます。
 - ・次にBボタンを押して数字を点滅させ、Cボタンで‘10’に合わせます。
 - ・Dボタンを押しデュアル時刻(シドニーの時刻)を設定した後、Bボタンを押して通常時刻表示に戻してください。

■ リセット機能について (表示がおかしい場合)

A・B・C・Dのボタンを同時に押してください。全ての機能がリセットされ、初期画面に戻り、受信を開始します。
※但し、この操作は取扱説明書通りに操作が出来なくなった時のみ使用してください。また手順を間違った場合は、ライトがつきっぱなしになることがあります。その場合はAボタンを押すと約2秒後にライトが消えます。

■ 長波標準時刻電波

電波時計は、標準時刻電波を受信し、解読する装置を内蔵した時計です。好条件のもとでは、1,000km先でも時刻情報をとらえることが可能となっています。時刻電波は、国によって周波数が異なります。この商品は、日本以外の国では電波時計としてのご使用はできません。標準電波は、ほぼ24時間続けて送信されておりますが、保守作業や落雷・積雪対策等で一時中断されることもあります。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

http://jij.nict.go.jp/jij/index.html

・日本標準時グループホームページは予告なくページ内容を変更する場合がございます。

※ただし、気象や大気の状態、

地形や時間帯、時計の置かれている建物の素材、周辺でのノイズの発生等により、受信能力が制限されることがあります。

おたかどや山標準電波送信所(40kHz) … 福島県田村市
はがね山標準電波送信所(60kHz) … 福岡県と佐賀県の県境

■ 電波時計ご使用上の注意

- 受信しやすい場所
 - この電波腕時計は、40kHz又は60kHzの長波標準電波を受信します。電波を受信しやすい場所(例えば、窓の近く)に時計を置いてください。
- 受信しやすい時間
 - 夜間は電波受信が比較的安定します。
- 受信が困難な場所
 - 家電機器、とくに受信中のテレビから約2mの半径内では、受信妨害が起こりやすく受信が困難になります。
 - ※この時計を金属面の上に置くと、受信が困難になりますので、ご注意ください。
 - 次にあげるような場所では、受信が困難な環境下にありますので、使用できないことがあります。(受信感度の目安は、ポータブルラジオと同等とお考えください。)

※このような場合は、受信条件の良い場所に移動すれば通常の機能にもどり、正しい時刻セットを行うようになります。しかし、再度受信が困難な環境下にてご使用する場合は、内蔵クォーツの精度で作動することになります。

- 受信について
 - 受信中は時計を動かさないでください。(受信中に時計を動かしていると、受信能力が低下します。)
 - 極端に高温や低温のところでは受信能力が低下します。
 - 受信中はボタンの操作をしないでください。
 - 気象条件、地形や時間帯により、受信能力が制限されることがあります。
 - 受信動作、確認動作を頻繁に行くと電池が消耗します。

■安全上のご注意 ※必ずお守りください

ご使用になられる方や、他人への危害及び財産の損害を未然に防ぐため、下記の表示で区分されています。内容に付きましては一読してご確認の上、必ずお守りください。

警告	注意
この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をしたときに「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。	この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をしたときに「人的傷害または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

● 図記号の説明	⊘ ⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な事項は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。	! ! は、必ず実行していただくことを示します。具体的な事項は、 ! の中や近くに絵や文章で示します。
-----------------	--	--

■ 電池についてのご願いとご注意

警告

- お客様は時計から電池を取らないでください。
- やむを得ずお客様が時計から電池を取出した場合は、電池をただちに幼児の手の届かない場所に保管してください。
- 万一飲込んだ場合は、体に害がある為、直ちに医師とご相談ください。
- 破裂・発熱・発火などのおそれがありますので絶対に電池をショート分解・加熱・火に入れるなどしないでください。

注意

- この時計に使用している電池は充電式ではありません。無理に充電すると液漏れや破損のおそれがあります。
- 10℃以下、+60℃以上の温度下で放置しますと、電池が液漏れしたり電池寿命が短くなる事がありますのでご注意ください。

■電池交換

- 思わぬケガをする危険性がありますので、お客様は電池交換をしないでください。また、万一ご自分で交換した際は、作業により生じた事故・故障・防水不良等は保証の対象外となります。
- 電池交換は必ず、お買い上げ店または時計専門店にご用命ください。
- 電池が切れた状態で時計を長時間放置すると、故障の原因にもなりますので、お早めに交換をおすすめいたします。
- 一部商品につきましては、特殊なベルト固定仕様となっており、一般店では電池交換が出来ない場合があります。そのような場合は、クレファアアフターサービスにて電池交換を有償にて承ります。詳しくはクレファアアフターサービスまでご連絡をお願いします。

■電池寿命

- 最初に入ってる電池は、工場出荷時に時計の機能を点検して性能を検査する為の電池です。この電池はお買上後、記載の電池寿命に満たないうちに切れる事がありますのでご了承ください。また、この電池は保証の対象外となりますので、その場合の電池交換は有償となります。

■電池の消耗

- 電池は自然放電によっても少しずつ消耗していきます。

ご使用上のご注意

①受信状態が悪く、すぐ受信を中止してしまう場合。

- 電波受信の状態が不調です。
 - 別の位置に移動。※なるべく窓際で電波受信を行ってください。
 - 受信場所に障害物がある可能性があるので障害物から離れた場所から再受信をしてください。※障害物(TV・家電機器等)から2m位はなれた場所 ※金属製の机等に置くと受信がしにくくなります。

②アンテナマークが表示されているのに受信できない場合。

- 受信時間内に安定した電波を受信できないと受信は中止してしまいます。
 - 電**大変良好のマークが安定して表示される場所へ移動してください。

③受信状態が悪く、すぐ受信を中止してしまう場合。

- 時刻信号をキャッチし、液晶表示が正常な動きをしているにもかかわらず、現時刻表示と違う時刻が表示されたとき。
 - 雷雨等の自然現象や、その他の電波障害により誤った電波信号をキャッチする場合がありますので再度受信を行ってください。
 - 気象条件が悪い場合は気象条件が良くなってから受信を行ってください。
 - 電池寿命を迎えている可能性もあります。※新しい電池と交換してください。

④この時計を海外でご使用する場合。

- 標準時刻電波は国によって周波数・時刻信号の内容が異なりますので、電波時計としては使用ができませんが、通常の時計としての使用は可能です。

⑤時刻が表示されない・薄く表示される場合。

- 電池寿命を迎えていることが考えられます。※新しい電池と交換してください。

⑥40kHzで受信しなかったときに60kHzを受信しようとしない、またはその逆の場合。

- 電波受信状況が良い場所で、手動にて再受信させてください。

警告							
⊘ 分解禁止	分解したり改造をしないでください。故障、ケガの原因になります。	⊘ 禁止	電池は充電、分解、加熱、火の中に入れてください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。				
⊘ 禁止	お客様は、時計から電池を取り出さないでください。故障、事故の原因になります。	!	本機から誤って電池を取り出した場合は、幼児の手の届かない所に保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師とご相談ください。				
!	●防水性能について 故障、事故の原因になりますので、時計の文字板及び裏蓋の防水性能をご確認の上、下記表を参照し、ご使用ください。						
	1気圧＝1BARを目安としてください。	日常生活での汗、洗顔や雨等一時的にかかると水滴	家庭の水仕事や雨等	水上スポーツや水仕事等長時間水にふれる場合	空気ポンペを使用しないスキューバダイビング	空気ポンペを使用した本格的な潜水	水滴がついた状態でボタン操作
	防水性	非防水	×	×	×	×	×
		日常生活防水(3気圧防水)	○	×	×	×	×
		5気圧防水	○	○	×	×	×
		10気圧防水	○	○	○	×	×
		20気圧防水	○	○	○	×	×

※水中あるいは水分のついたまま、リュウズ及びボタン操作をした場合は、防水性を保つことができません。
※防水性を保つため、定期的(2～3年を目安)なリュウズ交換をおすすめします。
※文字盤又は裏蓋にWATER RESIST表記のないものは、非防水です。防水構造になっておりませんので、大量の汗を発生する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や、水にふれるようなご使用はお避けください。
※WATER RESISTの表示のみの場合は日常生活防水になります。

注意

● 携帯時のご注意			
⊘ 禁止	本製品は腕時計です。時計以外の目的では使用しないでください。	! 注意	激しい運動や作業を行う時は、ご自身や第三者へのけがや事故防止の為、充分ご注意ください。
! 注意	幼児を抱く時等は、幼児のケガや事故防止の為、あらかじめ時計を外す等充分ご注意ください。	! 注意	かぶれやすい体質の人や、体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止して直ぐに医師にご相談ください。かぶれの原因は、金属・皮革アレルギーや、時計本体及びバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗等です。
⊘ 禁止	サウナや入浴等時計が高温になる場所でのご使用は、火傷の恐れがある為使用しないでください。	! 注意	シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらに含有するもの(ガソリン・マニキュア・レソール・トイレ用洗剤・接着剤等)が時計(本体、バンド、ガラス等)に付着しますと、変色・溶解、ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また、体温計等に使用されている水銀に触れますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。 ※化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。
! 禁止	ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこり等の気づかない汚れで衣類の袖口等を汚す場合があります。常に清潔ににご使用してください。	! 注意	磁気には近づけないでください。磁気健康器具(磁気ネックレス、磁気健康腰巻等)、冷蔵庫のマグネット、ドア・ロックの止め具、スピーカー、大型モーター、携帯電話等、磁気に近づけると時刻が狂います。この場合は磁気から離して時刻修正をしてください。
⊘ 禁止	静電気が発生する場所では使用しないでください。異常動作や故障の原因になります。(電源ONのテレビの画面からは、強い静電気が出ております。)	⊘ 禁止	床面に落としたり、強くぶつける等の激しいショックは与えないでください。 ※ゴルフ、キャッチボール等軽しいスポーツによる影響はありません。
! 注意	5℃～35℃から外れた温度下では機能が低下したり、停止することがあります。	⊘ 禁止	寒いところに長く置かないでください。
⊘ 禁止	直射日光が長時間あつたり、高温になるところに置かないでください。	! 注意	

● 防水について			
⊘ 禁止	水中あるいは水分のついたまま、リュウズ及びボタン操作をしないでください。時計内部に水が入る場合があります。	⊘ 禁止	5気圧防水以上の時計でも、蛇口の水を直接あてないでください。防水性能以上の水圧がかかり、故障の原因となる場合があります。
!	時計内にも多少の湿気がありますので、外気の温度が時計内部より低い時、ガラス面にくもりが出る場合があります。くもりが一時的なものの場合、支障はありませんが長時間消えないときは、お買い上げ店、又はアフターサービスにご相談ください。	!	大量の汗をかいた後は、布などでよく拭き取ってください。

●バンドのお取り扱いについて

!	皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭く等して常に清潔にご使用ください。	!	バンドは多少の余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
! 注意	バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。		

●商品のお手入れ方法

- ケース、ガラスは、傷つきやすいので柔らかい布で汚れや、ほこり等を拭き取ってください。
- 皮革バンドのお手入れ方法
 - 時計を外した後はきれいな布で汗や汚れを拭き取り、風通しの良い場所においてください。 ※皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がある場合があります。
- 金属バンドのお手入れ方法
 - 柔らかいブラシ等を使い石けん水で部分洗いをした後、水できれいに洗い流しその後、水滴を拭き取ってください。汚れたり、濡れたままにしておくとサビや腐食の原因となります。
- プラスチックバンドのお手入れ方法
 - 金属バンドと同様に石けん水で洗い、その後水で洗い流し水滴を拭き取ってください。化学製品ですので洗剤によって変質することがあります。通常、数年ご使用になると材質が硬化していきますので、その際は新しいバンドに交換してください。

● 保管について			
! 注意	長期間ご使用にならない時は、汗、汚れ、水分等をよく拭き取り、高温・低温・多湿の場所を選んで保管してください。	! 注意	保管する際は、幼児の手の届かない所に保管してください。